



2024年 5 月期第 2 四半期 決算概況

住江織物株式会社（東証プライム：3501） | 2024年 1 月



2024年 5 月期第 2 四半期 決算概況

- 連結業績 P. 4
- 連結業績推移（売上高/営業利益） P. 5
- 事業セグメント別内訳（インテリア事業 / 自動車・車両内装事業 / 機能資材事業） P. 6
- 連結バランスシート P.12
- 設備投資・減価償却費 P.13

2024年 5 月期 通期見通し

- 連結業績見通し/事業セグメント別見通し P.15
- 配当金について P.17

中長期経営目標 SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027 進捗

- 中長期経営目標 概要 P.19
- Topics ①～② P.21
- 今後の重点取り組み ①～④ P.23

2024年5月期第2四半期 決算概況

- ・ 連結業績
- ・ 連結業績推移
- ・ 事業セグメント別内訳
- ・ 連結バランスシート
- ・ 設備投資・減価償却費

2024年 5 月期第 2 四半期 (2023年 6 月 - 2023年11月) 連結業績



(単位：百万円)

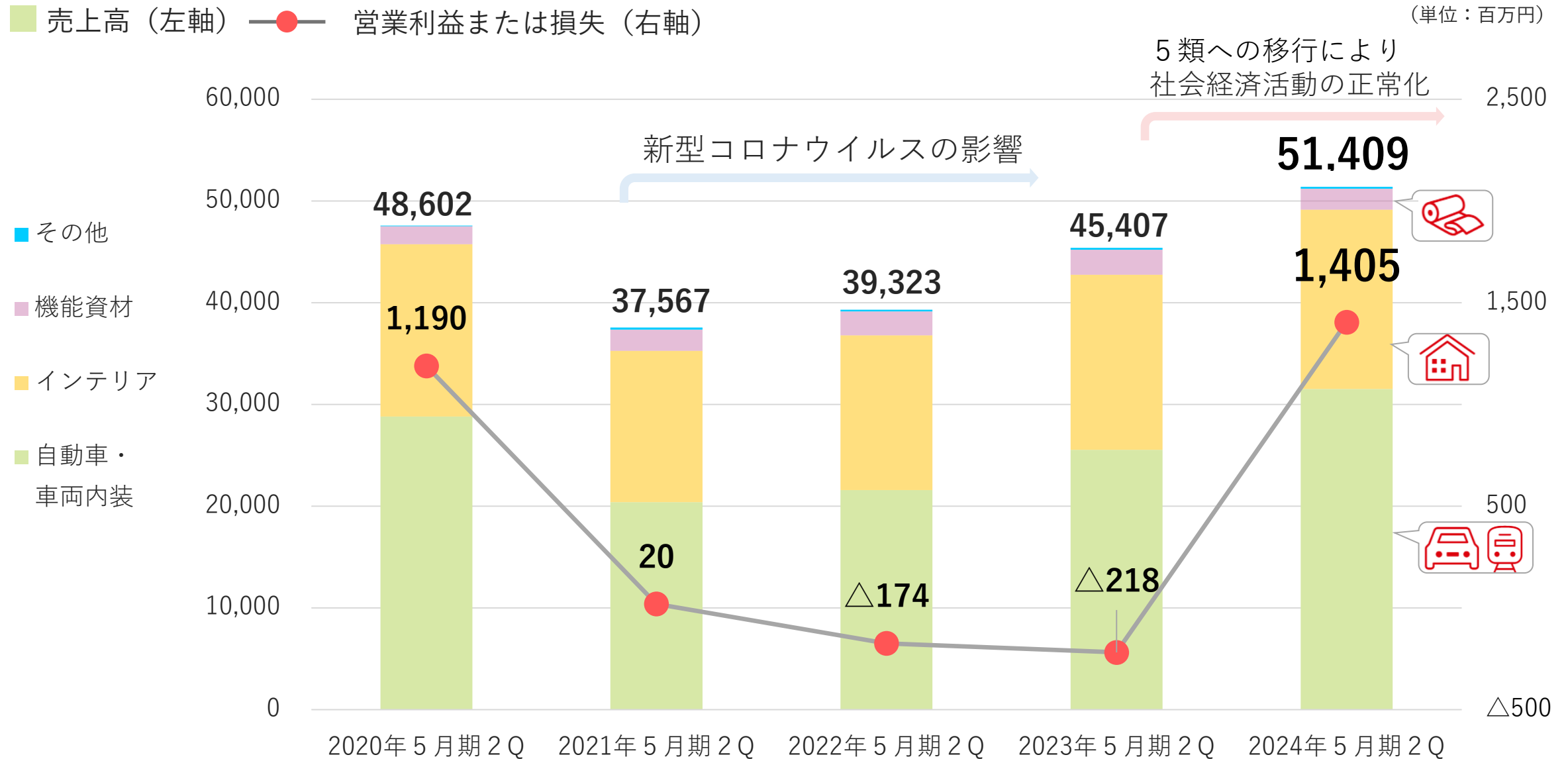
	当第 2 四半期	前年同期	前年同期比増減		期初計画 (2023/ 7 /14付)	期初計画比増減	
			(率)	(額)		(率)	(額)
売 上 高	51,409	45,407	+13.2%	+6,002	49,000	+4.9%	+2,409
営業利益	1,405	△218	—	+1,624	800	+75.7%	+605
営業利益率	2.7%	—			1.6%		
経常利益	1,693	148	—	+1,544	800	+111.7%	+893
経常利益率	3.3%	0.3%			1.6%		
四半期純利益	753	△687	—	+1,441	150	+402.3%	+603
四半期純利益率	1.5%	—			0.3%		

(単位：円)

為替レート 1 \$ =	当第 2 四半期	前年同期
	142.61	135.31

※ 当資料の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表しています。

連結業績推移 (売上高/営業利益)

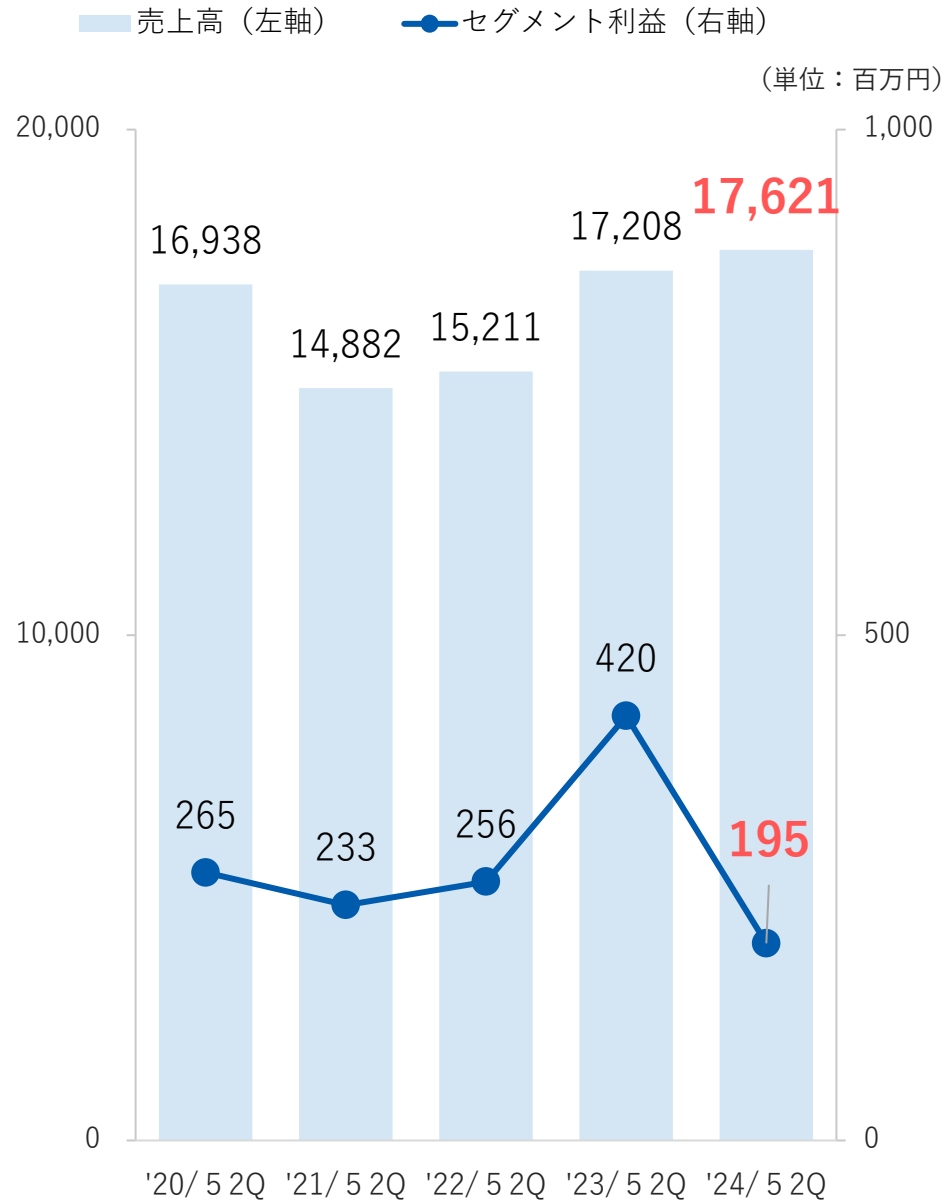


事業セグメント別内訳

(単位：百万円)

		当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		売上高比率 (当第2四半期)
				(率)	(額)	
売上高	インテリア	17,621	17,208	+2.4%	+413	34.3%
	自動車・車両内装	31,533	25,550	+23.4%	+5,983	61.3%
	機能資材	2,067	2,452	△15.7%	△385	4.0%
	その他	186	195	△4.5%	△8	0.4%
	合計	51,409	45,407	+13.2%	+6,002	100.0%
		当第2四半期	前年同期	前年同期比増減		
				(率)	(額)	
セグメント利益	インテリア	195	420	△53.5%	△224	
	自動車・車両内装	2,130	230	+822.7%	+1,899	
	機能資材	84	109	△22.6%	△24	
	その他	33	38	△10.9%	△4	
	調整額	△1,038	△1,017	—	△21	
	合計	1,405	△218	—	+1,624	

インテリア事業



事業環境

新設住宅着工戸数

前年同期比

△7.1%

着工床面積

前年同期比

△12.7%

当社

売上高

前年同期比

+2.4%

(+413百万円)

セグメント利益

前年同期比

△53.5%

(△224百万円)

増収減益

売上高は、

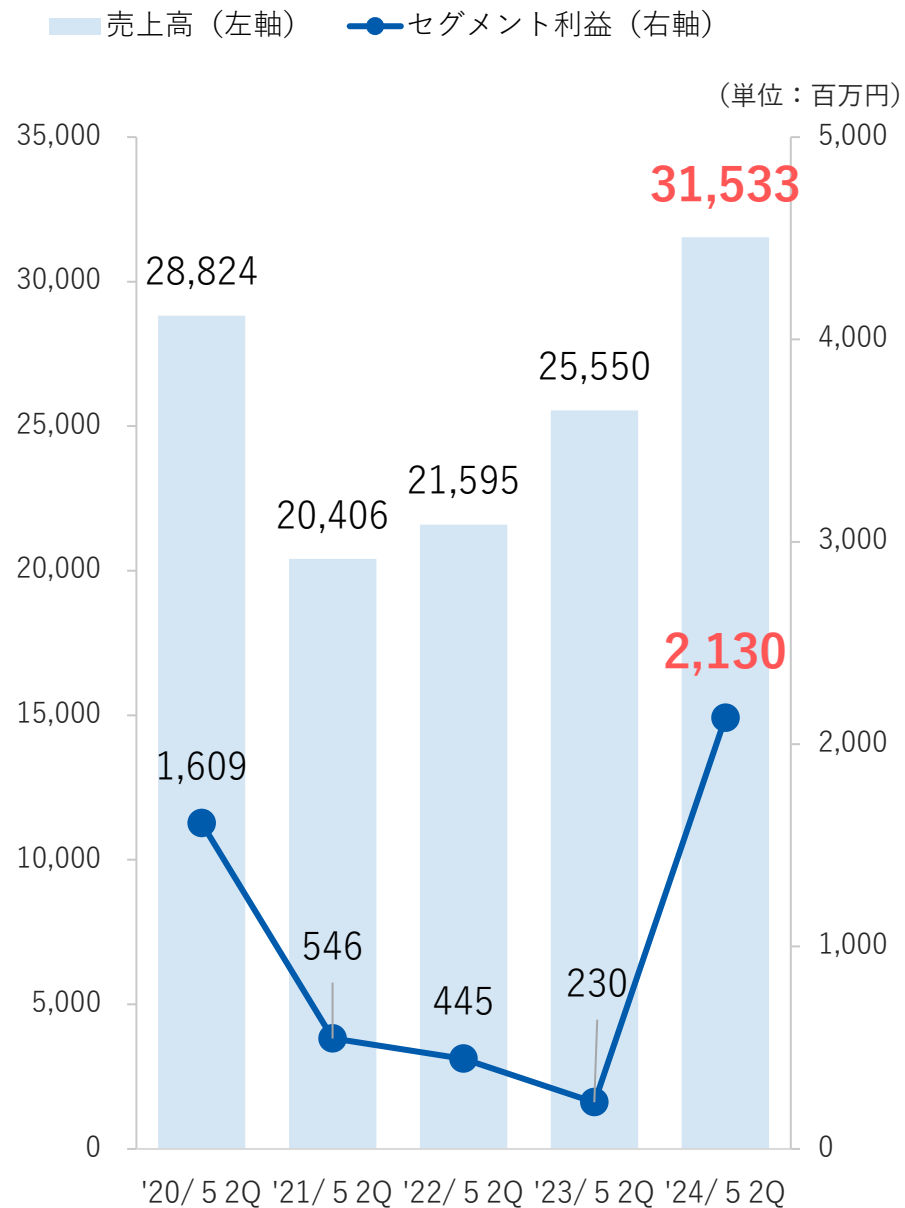
となりました。

タイルカーペットを中心に納入物件数が増加し、
スペース デザイン ビジネスも堅調に推移したことから
増加しました。

セグメント利益は、価格転嫁を上回る原材料価格高騰の影響を受けたこと、
利益率の高い商材および物件が下期計上となり減少しました。

業 務 用 カーペット	売上高 前年同期比 +5.1%	+	● 環境配慮への意識の高まりから、(株)スミノエが販売する 水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の 納入物件数増加
家 庭 用 カーペット	売上高 前年同期比 △16.2%	-	● 外出機会の増加からラグ・マットなどの販売需要が低下し、 市場の停滞が継続
カ ー テ ン	売上高 前年同期比 +1.7%	+	● 医療・福祉・教育施設向け「コントラクトFace（フェイス®） Vol. 20.1」の納入物件数増加
壁 装 関 連	売上高 前年同期比 +1.9%	+	● ルノン(株)が販売する襖紙見本帳「景勝 第32集」が堅調に推移
ス ペ ー ス デ ザ イ ン ビ ジ ネ ス	売上高 前年同期比 +6.5%	+	● 新たな得意先への開拓が受注物件数増加につながり、 (株)シーピーオー・(株)プレテリアテキスタイルの売上が寄与

自動車・車両内装事業



事業環境

国内自動車 生産台数

前年同期比

+14.0%

海外自動車

前年同期比

生産台数 増

当社

売上高

前年同期比

+23.4%

(+5,983百万円)

セグメント利益

前年同期比

+822.7%

(+1,899百万円)

増収増益

売上高は、

となりました。

自動車生産台数増加等により自動車関連売上が
過去10年で最高の伸び率となり、車両関連も外出機会
の増加を受け内装材需要は回復基調を維持しました。

セグメント利益は、

北中米拠点の事業再編や原材料・エネルギー価格高騰
に伴う適正な価格転嫁が奏功しました。

自動車内装 (国 内)

売上高
前年同期比
+25.2%

+

- 半導体・部品供給不足緩和
- 日系自動車メーカーの国内生産が回復

自動車内装 (海 外)

売上高
前年同期比
+20.4%

+

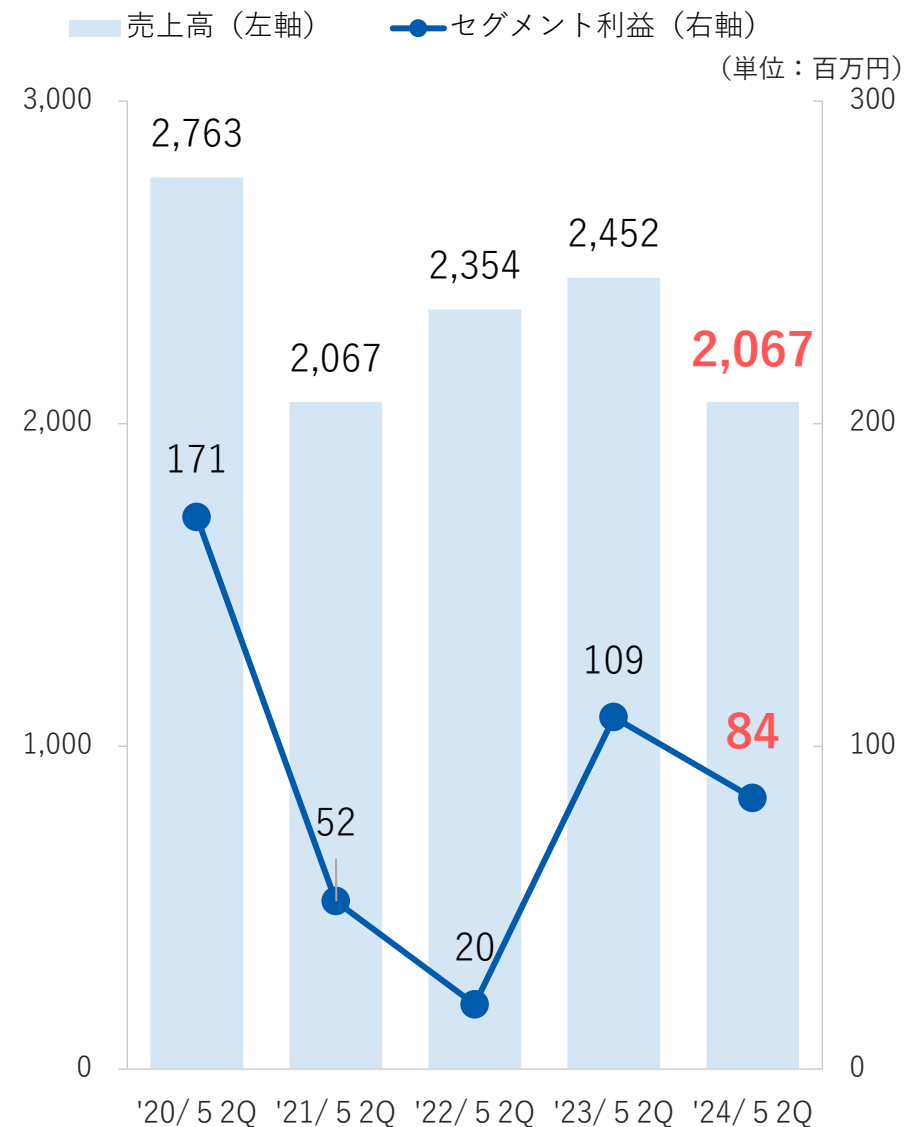
- 合成皮革事業の堅調な売上増加
- 北中米拠点の事業再編が奏功
- 当社グループの中国拠点では日本での完成車組み立て生産分の売上が堅調に推移

車 両 内 装

売上高
前年同期比
増加

+

- インバウンド需要や外出機会の増加によりコロナ禍で落ち込んでいた鉄道・バス向け内装材の需要回復へ着実に対応
- 2022年7月にグループ会社化した関織物(株)による増加および市場シェア拡大



当 社

売上高
前年同期比
△15.7%
(△385百万円)

セグメント利益
前年同期比
△22.6%
(△24百万円)

減収減益 となりました。

消臭・フィルター関連の新商材が順調に立ち上がり、浴室床材は販売価格改定により堅調となった一方、市況低迷による繊維系暖房商材の受注数減少で、事業全体の売上・利益は前年同期を下回りました。

繊維系暖房商材	売上高 前年同期比 減少	—	● 市況低迷の影響を受け新規受注数減少
消臭フィルター	増加	+	● (株)さくらドーム 自動開閉式ゴミ箱の「ZitA SQUARE」に新規採用
		—	● コロナ需要後の反動減で、空気清浄機向け消臭フィルターが停滞
機能性浴室床材	増加	+	● 販売価格の改定により売上増加
		—	● 新規受注数は前年同期比減少

連結バランスシート

(単位：百万円)

	2023年 5 月期	2024年 5 月期 2Q	前期比増減
流動資産	48,880	54,729	+5,849
有形固定資産	29,976	30,968	+992
無形固定資産	1,656	1,524	△131
投資その他の資産	7,638	7,609	△28
資産 計	88,151	94,832	+6,681

特記事項

うち、現金及び預金

● 前期末比 + 2,826百万円の9,906百万円

うち、棚卸資産

● 前期末比△76百万円の15,846百万円
(為替差+572百万円 実力差△648百万円)

	2023年 5 月期	2024年 5 月期 2Q	前期比増減
流動負債	36,008	37,072	+1,064
固定負債	18,029	20,695	+2,666
負債 計	54,037	57,768	+3,730
純資産	34,113	37,063	+2,950
負債・純資産 計	88,151	94,832	+6,681

うち、借入金(リース債務除く)

● 前期末比+752百万円の22,033百万円

うち、利益剰余金

● 前期末比+626百万円の11,833百万円

うち、自己株式

● 前期末比+1,204百万円の△2,708百万円

設備投資・減価償却費

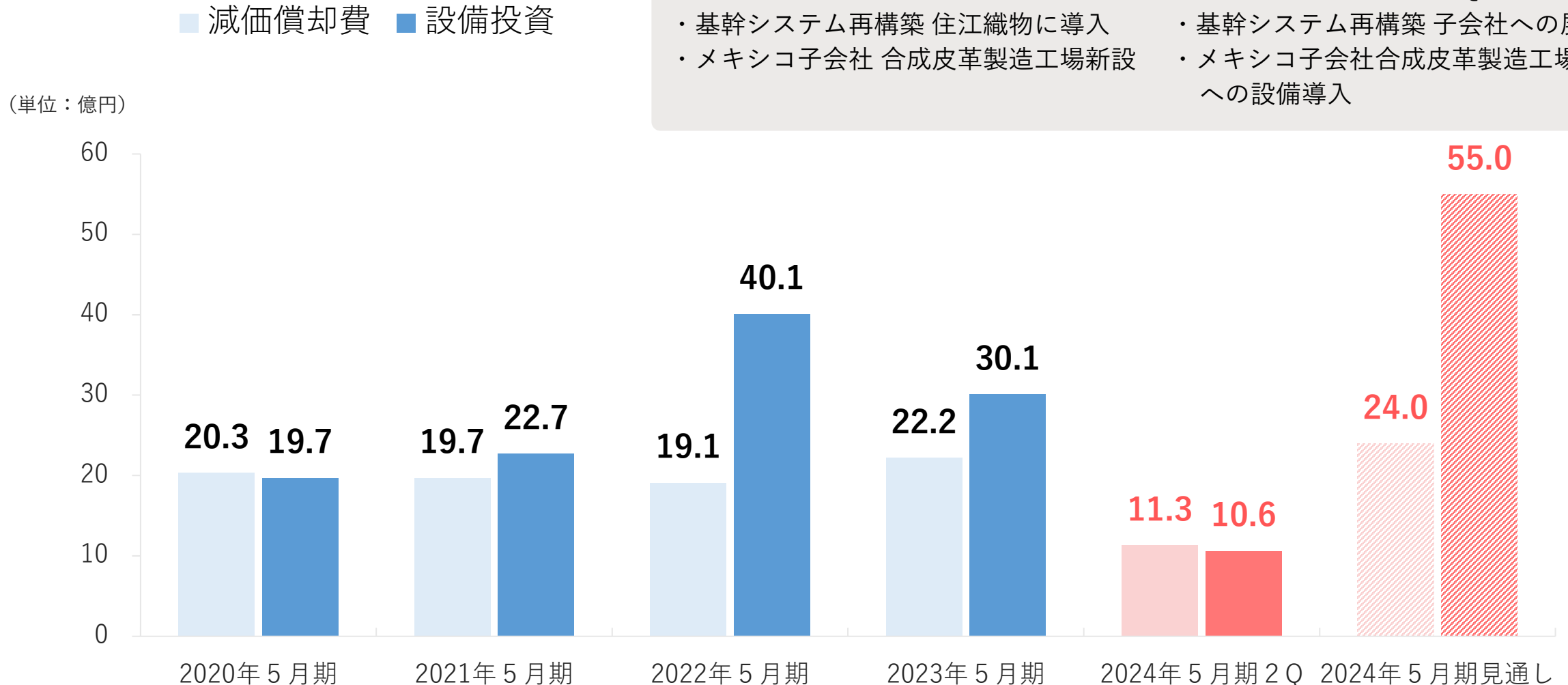
設備投資の主な案件

● 2023年 5 月期

- ・ 基幹システム再構築 住江織物に導入
- ・ メキシコ子会社 合成皮革製造工場新設

● 2024年 5 月期 2 Q

- ・ 基幹システム再構築 子会社への展開
- ・ メキシコ子会社合成皮革製造工場への設備導入



2024年 5 月期 通期見通し

- 連結業績見通し
- 事業セグメント別見通し
- 配当金について

2024年 5 月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

(単位：円)

	2024年 5 月期 通期見通し (2024/ 1 /11付)	2023年 5 月期 実績	前期比増減	
			(率)	(額)
売上高	102,200	94,828	+7.8%	+7,371
営業利益	3,100	1,294	+139.4%	+1,805
営業利益率	3.0%	1.4%		
経常利益	3,400	1,575	+115.8%	+1,824
当期純利益	1,600	320	+399.3%	+1,279

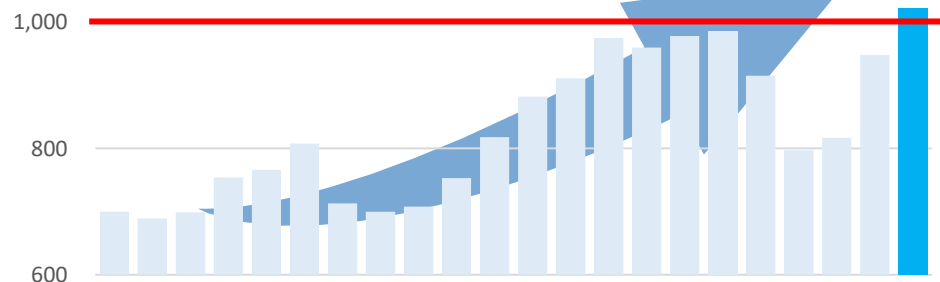
想定レート
1 \$ =

'24/ 5 期
140.00

2023年11月 2 日付でお知らせいたしました「弊社グループ会社工場における小火に関するお知らせ」に関連する対応費用を計上しておりますが、2024年 5 月期の業績に与える影響は軽微です。

売上高

(単位：億円)



2024年 5 月期見通し

1,022

売上高は、北米進出した2003年以降で最高となる1,022億円。営業利益も、同じく最高水準となる31億円に上方修正しました。

北中米拠点の事業再編が奏功した他、中国・アジア拠点についても繊維から非繊維へと、成長分野である合成皮革事業へ領域を拡げたビジネス展開が、売上・利益の拡大に繋がる見込みです。

2024年5月期 事業セグメント別見通し

(単位：百万円)

売上高		2024年5月期 通期見通し (2024/1/11付)	2023年5月期 実績	前期比	
				(率)	(額)
	インテリア	37,120	36,598	+1.4%	+521
	自動車・車両内装	61,511	54,314	+13.3%	+7,196
	機能資材	3,181	3,550	△10.4%	△369
	その他	388	365	+6.2%	+22
	合計	102,200	94,828	+7.8%	+7,371

インテリア

- 環境配慮への意識の高まりを追い風に「ECOS®（エコス）」を中心とした環境対応型製品の拡販
- 下期に利益率の高い商材および物件が計上される見込み

自動車・車両内装

- 過去最高の売上高となる見込み
- 自動車関連：成長戦略である合成皮革事業への注力
- 車両関連：グループ会社化した製造拠点（関織物）との連携により、内装材需要増加へ着実に対応

機能資材

- 繊維系暖房商材は市況低迷の影響を受け、新規受注数が停滞
- BtoC向けの商品やニーズに応じた高機能・高付加価値の開発と提供

セグメント利益		2024年5月期 通期見通し (2024/1/11付)	2023年5月期 実績	前期比	
				(率)	(額)
	インテリア	937	977	△4.2%	△40
	自動車・車両内装	4,256	2,230	+90.8%	+2,025
	機能資材	△36	90	—	△126
	その他	73	60	+20.5%	+12
	調整額	△2,130	△2,064	—	△65
	合計	3,100	1,294	+139.4%	+1,805

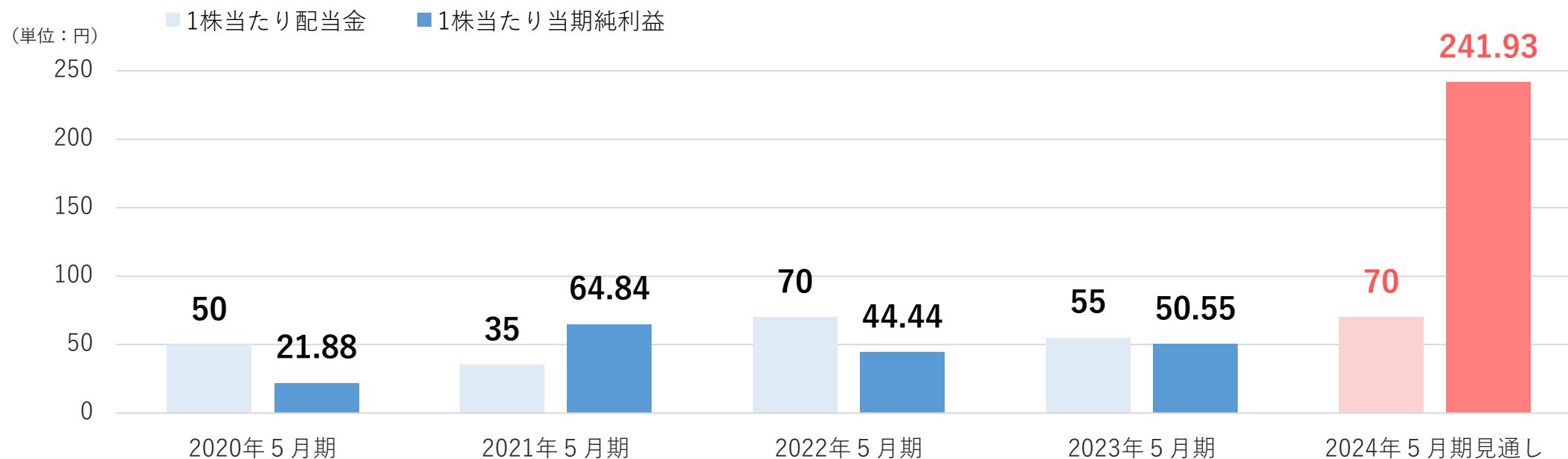
配当政策

株主のみなさまへの利益還元を重要な経営課題と位置付け、安定的な配当と業績の動向を勘案しながら、適正な成果の配分を実施することを基本方針としています。

配当時期については、中間および期末の年2回を基本とします。

2024年5月期配当について

2024年5月期中間の配当金は、1株当たり35円とさせていただきます。期末も35円とし、年間70円の予定です。



中長期経営目標 進捗

SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

- 中長期経営目標 概要
- Topics
- 今後の重点取り組み

中長期的な「ありたい姿」を見据え、2027年までの方針を定めました。

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

経営
方針

- より良いビジネスモデルを構築し
社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

目標

- 売上拡大、成長への基盤づくり
- 財務体質の改善
- 社員の幸せにつながる職場づくり
- 会社と社員のビジョンの共有

課題

- CO₂排出量の削減、環境対策商材の開発・販売
- コスト競争力の強化
- オンリーワン商材の開発
- 抗菌・抗ウイルス加工商材の拡販
- 安全・安心な職場環境
- 多様な人材の活躍・人材育成
- ガバナンスの強化
- 基幹システムによる業務効率改善
- 企業ブランド価値の向上

SGW SUMINOE GROUP WAY 2022～2024～2027

経営方針

- より良いビジネスモデルを構築し 社会が必要とする企業としてグローバルに成長する
- 健全な利益を上げ 次の成長への投資をする
- ESG経営を強化する

財務目標

売上拡大、成長への基盤づくり

- ・ 営業利益率5%以上
- ・ 成長の基盤づくりに向けた投資計画
- ・ 環境対応型商材の開発と販売促進

財務体質の改善

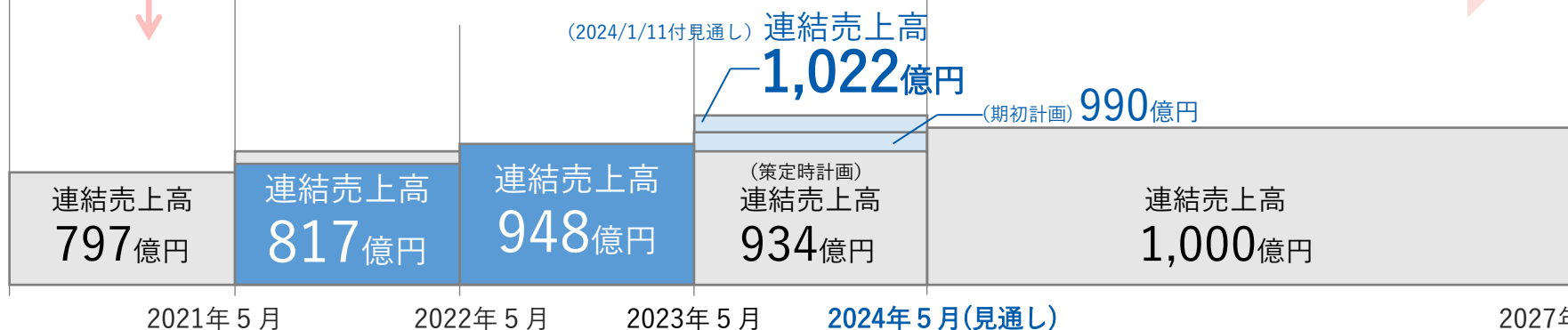
- ・ DEレシオ改善
- ・ 在庫回転率アップ
- ・ 自己株式の活用

非財務目標

社員の幸せにつながる職場づくり

- ・ 健康に働ける職場環境づくり、人材育成、多様な人材の活用

会社と社員のビジョンの共有



Topics ① 企業ブランド価値の向上

住江織物グループは、 SUMINOE GROUP へ

企業ブランドの浸透を目指し、
グループ統一ロゴの展開を進めています。

封筒・名刺



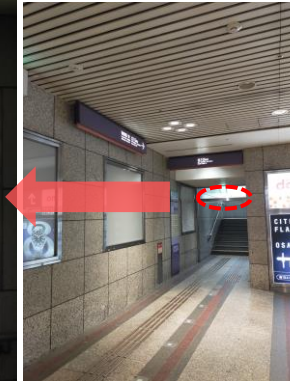
社章



看板掲出



2023年12月～2025年 3 月
住江織物本社最寄 Osaka Metro心斎橋駅



広告出稿



2023年 4 月～（毎月一回
1 年間 ※ 2 月を除く）
日本経済新聞 全国版朝刊
突出し広告

社屋看板



メキシコ子会社 合成皮革新工場が完成しました

自動車内装材の北中米拠点強化に向け
新工場が完成し、2023年12月に開所式を行いました。



北米 合成皮革市場拡大

- 新工場完成 2023 年 12 月

工場用地取得・新工場建設

新工場への設備導入

- 量産開始予定 2024 年 6 月

生産性向上・効率化

最適な作業環境の整備

トータル提案・供給

グローバルでの競争力強化

市場環境

合成皮革市場 年平均成長率
2020～2027年

約8%

取り組み

当社 合成皮革売上高
2023年 5 月期比

増加

目標

合成皮革事業 売上目標
2027年 5 月期までに

100億円以上

グループの総合力を活かし 事業を越えたシナジーを創出します

それぞれの事業が持つ強みや実績を掛け合わせた、
新しい製品の開発に取り組んでいます。

車両内装事業 × インテリア事業

近畿日本鉄道 観光特急『しまかぜ』
カーペット裏材を「ECOS®（エコス）」仕様で張替



《実績》

- ・車両内装事業業界トップのシェア率

《環境対応》

- ・水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®」製造技術

『あらゆる空間に、イノベーションを。』の実践

機能資材事業 × インテリア事業

『ほっとSUMINOE』シリーズ
USBクッション&ブランケット



《実績》

- ・長年にわたる国内家電メーカーへのOEM供給

《安全性》

- ・安全第一の設計、高い技術力

《デザイン性》

- ・創業140年の歴史に培われたインテリアの感性

今後の重点取り組み② 上場維持基準の達成に向けて

プライム市場上場維持基準達成に向けた各種取り組みを継続します

2024年5月末までに上場維持基準を充たすため、各種取り組みを進めています。

	プライム市場 上場維持基準	当社グループの 状況
株主数	800人以上	○
流通株式数	20,000単位以上	○
流通株式時価総額	100億円以上	未達
売買代金	1日平均売買代金0.2億円以上	○
流通株式比率	35%以上	○

(2023年5月時点)

既存事業強化

- 中長期経営目標に基づき、各事業部にて既存事業強化の取り組みを実施

設備投資 M & A

- 基幹システム再構築（～2025年5月）
- メキシコ子会社合成皮革製造ライン新設
- スペース デザイン ビジネス拡大に向けたM & A等

IR活動強化

- IR資料の英語対応
- 有料アナリストレポートの発行
- 機関投資家1on1ミーティング回数増加
- 個人投資家向けIRセミナー参加

開示資料の充 実

- 2022年度より統合報告書発行（英語版含む）
- 2023年11月…2023年度統合報告書発行済み
ESGへの取り組みページの充実（サステナビリティ関連方針、社外取締役座談会）他

コーポレート ガバナンスの充 実

- 2022年8月定時株主総会より「機関投資家向け 議決権電子行使プラットフォーム」参加

流通株式数の増加

- 2022年度より株主優待制度導入

今後の重点取り組み③ 自動車内装事業の収益拡大

自動車内装事業の収益拡大に向け 技術・製品開発や提案を進めています

車室空間のニーズに合わせた
新しい高付加価値製品を生み出します。

加飾事業の強化

- ファブリック・
合成皮革の
加飾加工技術



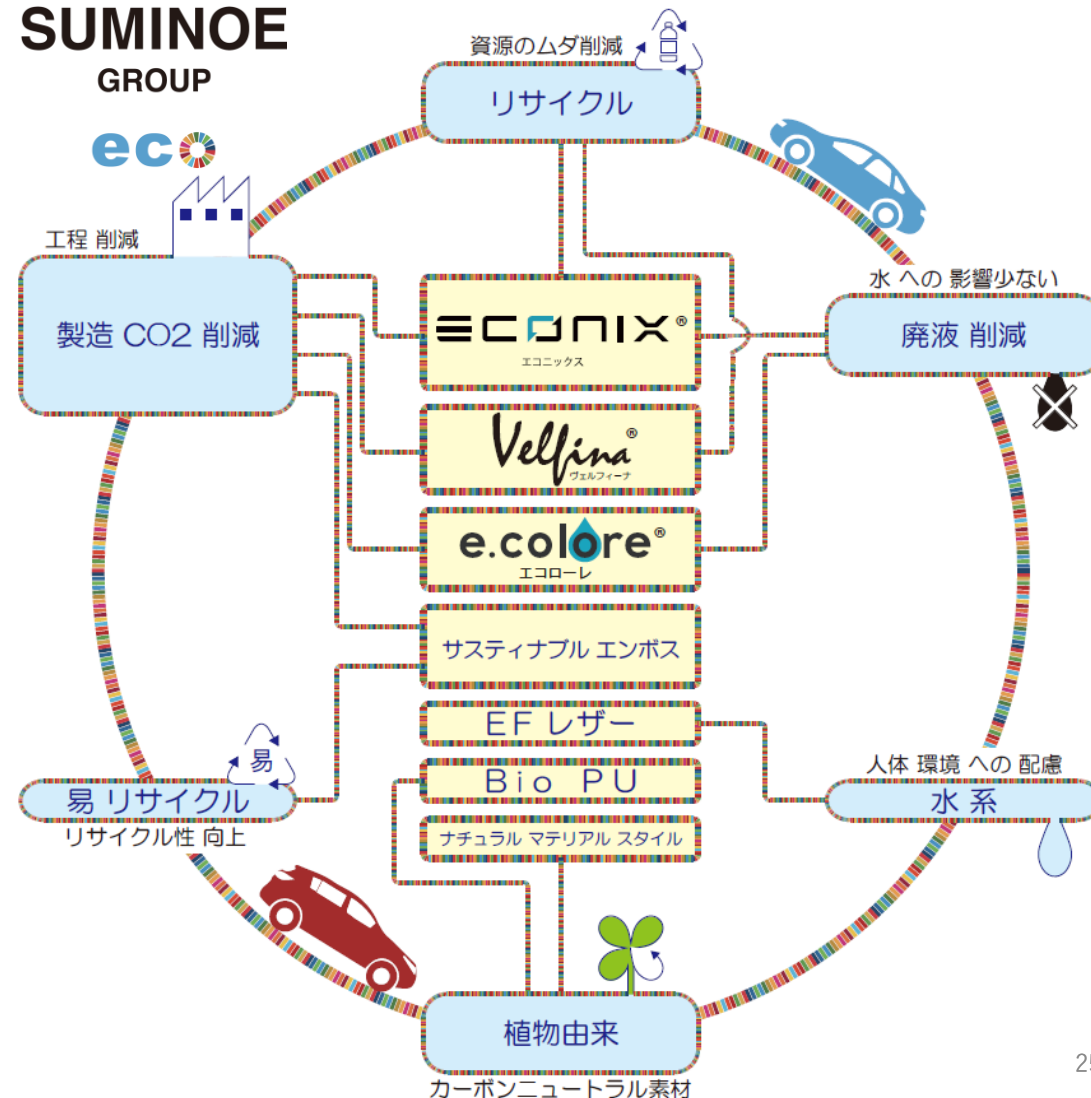
環境対応型製品の開発

- 再生ポリエステル原糸を使用したシートファブリック

日系自動車メーカーの工場等から回収した使用済みペットボトルを
細かく粉砕してチップにし、着色・再生した原糸を使用したシート
表皮材を納入。

環境への取り組み

SUMINOE GROUP



今後の重点取り組み④ 高機能・高付加価値の提供

各製品群において高機能・高付加価値を提供すべく開発を進めています

開発の基本理念「K(健康)K(環境)R(リサイクル)
+ A(アメニティ：快適さ)」に基づき、BtoC向けの
取り組みも進めています。

食品の開発

「柿ダノミ」に次ぐ健康食品「清爽習慣」を発売しました。

2023年12月発売

健康食品「清爽習慣」



奈良県産摘果柿から抽出した柿渋（柿ポリフェノール）配合

抗菌・抗ウイルス加工

自社開発の「抗菌・抗ウイルス加工」技術で、
タイルカーペットのパイル繊維に加工した商品を発売しました。

2023年10月発売

抗菌・抗ウイルス加工「Vguard（ブイガード）」

「抗菌・抗ウイルス」機能により、加工繊維上の特定のウイルスの数を減少させます。

Vguard ブイガード

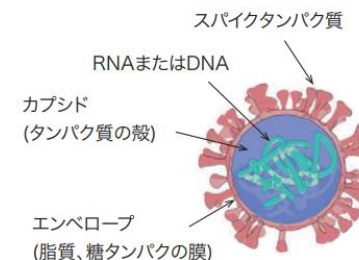
繊維製品に対する抗ウイルス加工です。
スミノエオリジナルの抗ウイルス加工として
新規開発しました。

抗ウイルス成分を、繊維表面に強力に固着することで、抗ウイルスカーペットを実現しました。

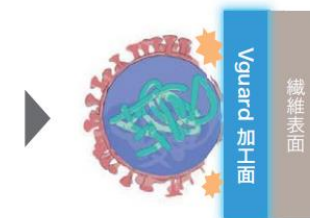
抗菌・抗ウイルス

製品加工時の効果 >>

Vguard加工された面に
ウイルス粒子が触れることで効果を発揮



ウイルスの断面模式図
(エンベロープあり)



加工部分の拡大模式図



例_Vguard加工カーペット

※イラストはイメージです

Vguard加工面にウイルス粒子が触れることで表面の脂質、タンパク質に作用し破壊

当資料の将来見通しに関するリスク情報

当資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。